



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151 (代表)

担当者の所属・氏名 腎臓内科 藤丸拓也

【研究責任者】

聖路加国際病院 腎臓内科 藤丸拓也

在宅血液透析を実施されていた方を対象とした研究

1.研究の対象

2014年1月～2022年12月までに当院にて在宅血液透析治療を受けていた方

2.研究の目的・方法

本邦において、2020年の時点で透析療法を受けている方は約34万人にのぼります。しかし、在宅血液透析を受けている方は、そのうちの751人(0.2%)しかいらっしゃいません。そして、この割合は本邦に限らず世界的にみても同じ状況です。

このように、在宅血液透析を実施している方は非常に少ないため、在宅血液透析を始めてからの血圧や体重、血液検査などの臨床データ推移についての情報は多くありません。

本研究は、聖路加国際病院にて在宅血液透析を実施していた方を対象として、在宅血液透析開始前後の血圧や体重、血液検査などの臨床データの推移を明らかにすることを目的としています。本研究により、在宅血液透析の利点や問題点を明らかにし、今後の慢性透析療法の発展に貢献できると考えております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

本研究の調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2028年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《臨床データ》

在宅血液透析開始前後の病歴、内服薬、体重、血圧、血液検査結果 等